

第5回星の俳句コンテスト開催趣意書

大阪府の北東部に位置する交野ヶ原（現在の交野市・枚方市一帯）は星にまつわる伝承・史跡・地名が集中して残る全国でも珍しい地域です。その中でも、星田妙見宮は七夕・北極星・降星伝説と多くの伝承にまつわる神社であり、機物神社とともに交野ヶ原における戦後の七夕文化を牽引してきた存在です。

令和元年、大雨と台風による被災からの星田妙見宮の復興と、交野ヶ原の七夕文化の再スタートとを祈念して、「第1回星の俳句コンテスト」を星田妙見宮で開催し、全国から約1,000通の応募作品が集まりました。おかげさまで回を重ねるにつれて応募数も増え、昨年実施した第4回では、日本を含めた世界38ヶ国から3,817通の応募をいただきました。

今年も継続して、ここ交野ヶ原とは歴史的・文化的に深いつながりを持つ「星」をテーマにした俳句コンテストを開催し、子どもからお年寄りまで幅広く親しめる俳句という日本文化を通じて、郷土交野ヶ原の文化振興と魅力発信を行い、子ども達のシビックプライドの醸成に努めることで、持続可能な地域社会を目指してまいります。

実施回数(年)	応募数	参加国数
第1回(2019年)	997	日本のみ
第2回(2021年)	2,107	26ヶ国
第3回(2022年)	3,000	34ヶ国
第4回(2023年)	3,817	38ヶ国

開始時からの応募数・参加国数の推移

つきましては、本主旨をご賢察のうえ、当コンテストへのご参加を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

【審査委員長】夏石番矢プロフィール：1955年兵庫県相生市生まれ。1979年東京大学教養学部フランス科学士号取得、1981年同大学大学院で比較文学比較文化課程の修士号取得。1992年明治大学教授となり、現在も教鞭を取る。2000年に世界俳句協会を創立。世界各国で俳句の推進に努める。現代俳句の第一人者として高校の国語教科書に作品掲載。

記



●募集期間：令和6年（2024年）4月1日（月）～5月31日（金）

※学校関係者の方で3月中にご応募希望の場合は事務局へお問い合わせください

●募集部門：①小学生以下の部 ②中高校生の部 ③一般の部 ④海外の部 第4回表彰式の様子

●俳題：「星」「星にまつわるもの」

●表彰式：令和6年（2024年）7月6日（土）18時～19時30分予定 場所：星田妙見宮

●主催：天の川・交野ヶ原プロジェクト実行委員会

●後援：交野市・交野市教育委員会・交野市国際交流協会・交野市星のまち観光協会・交野市おりひめライオンズクラブ・枚方市・枚方市教育委員会・枚方文化観光協会・北大阪商工会議所・大阪府・大阪府教育委員会・大阪観光局・摂南大学・交野おりひめ大学・星田妙見宮・世界俳句協会・吟遊社

●問い合わせ：事務局 TEL：072-395-3485 Mail：katanogaharapj@gmail.com